

2019年度開講講座のご案内

青山アカデミアは、いつまでも学び続ける社会人のための「卒業のない大学」です。
キャリアチェンジにあたって新たな分野の知識を身につけたい方や、
さらなる専門性を深めるため大学で勉強したい方、
育児休暇中に知識を身に付けステップアップを図る女性の方々、
人生の節目にもう一度学び直したい社会人の皆様を対象に、多様な講座を展開しております。
2019年度、さらにブラッシュアップした青山アカデミアに通ってみませんか？

コミュニケーションイングリッシュ（春季／秋季）

キャンパス：青山キャンパス
開講期間：春季（2019年4月～7月）／
秋季（9月～2020年1月）
曜日時限：木曜日（毎週） 19:00～20:30 全15回
講義概要：
仕事や旅行など様々なシーンで生かせる、実践的な英語コミュニケーションスキルを学びます。能力にあったレベル別のクラス（初級・中級・上級）で、ディスカッションを中心とした授業構成となっています。

The Wall Street Journal®で学ぶビジネス英語

担当教員：法務研究科 大垣 尚史
キャンパス：青山キャンパス
開講期間：2019年4月～2020年1月
曜日時限：水曜日（隔週） 19:00～20:30 全13回
講義概要：
米国の掲載新聞「The Wall Street Journal®」を教材に、実際に仕事（特に金融業界）で使えるビジネス英語を学びます。

NEW ビジネスシーンで聞く聖書の言葉

担当教員：社会情報学部 大宮 謙
キャンパス：青山キャンパス
開講期間：2019年9月～2020年1月
曜日時限：火曜日 19:00～20:30 全15回
講義概要：
新約聖書は、およそ2千年前に地中海世界という環境で書かれたものでありながら、様々な地域、時代で読み続けられ、人々の生活の支えとなり、決断の際の指針を提供してきました。本講義では、新約聖書を主なテキストとして取り上げ、書かれた時代状況における意味を確認した上で、現代社会を生きる我々がビジネスシーンにおいて、それぞれのテキストからどのようなメッセージを聞き取ることができるのかを探求していきます。一方的に講師が語るのではなく、受講生との意見交換をしながら講義を進めます。

地方自治戦略的政策形成

担当教員：社会情報学部 飯島 泰裕
キャンパス：青山キャンパス
開講期間：2019年6月～7月
曜日時限：土曜日 9:00～15:10 全4回
講義概要：
多様な行政需要へ適切に対応するために、必要とされる問題について深く考察し、新たな視点や柔軟な発想によって政策案を企画し、これを効果的に提案していく能力を養成します。特に今回は、人や企業に「選ばれる」地域を考えることで政策形成します。本講座は、ある県や市町村の職員に対して、長年、行われてきた研修をアレンジしたものです。4～6名を1グループとし、2グループ以上で実施します。

NEW 都市研究金沢

担当教員：社会情報学部 飯島 泰裕
キャンパス：青山キャンパス
開講期間：2019年9月～2020年2月
曜日時限：土曜日 9:00～15:10 全5回
講義概要：
歴史文化都市である金沢を通して、日本文化を知り、体験する講座です。金沢は、伝統的なものを大事にし、観光資源としても活用していますが、近代的な取り組みも盛んです。例えば、I/Oデータ機器、ナナオ、P F Uなどの情報通信技術企業も金沢や石川県で創業し、本社があります。また、伝統工芸の九谷焼が、世界高級グラスメーカーのRiedelと共同で、陶器とグラスを融合させたワイングラスを作るなど、伝統と現代の融合といった点でも金沢は興味深い街です。金沢市東京事務所の協力や、東京へ進出している金沢企業の協力を得ながら、体感的に学びます。銀座にある金沢市と石川県のアンテナショップに赴き、そこで体験したり味わったりするのも良いでしょう。また、2015年3月に開通した北陸新幹線に乗って、最終的には現地を訪れて、本物の日本文化を体験してみたいと思います。

青山アカデミア 検索

※ 申し込み方法、受講料等の講座詳細については、12月中旬に大学ウェブサイトにて公開予定です。こちらに掲載している講座以外にも様々な講座を開講予定です。随時ご確認ください

NEW

下記のアカデメイア講座は、大学の正規科目を現役の学生と一緒に受講いただく講座です。
社会人と学生が意見を交わすことで、より深い学びを追求します。



プロジェクト演習入門1

担当教員：社会情報学部 飯島 泰裕
キャンパス：相模原キャンパス
開講期間：前期（4月～7月）
曜日時限：火曜日3時限（13:20～14:50）
講義概要：

社会情報学部2年標準配置の実習授業に参加して行います。企業や行政などの抱える具体的な課題等を、小グループで課題解決に取り組みます。授業は、その進捗報告を中心に行われ、課題解決に向けて必要となる知識や技術などを適宜学習します。したがって、必ずしも授業時間内で教室内での取組にとどまらず、外部への調査等を含めた授業時間外の取組も必要となります。また、中間報告会、最終報告会を予定しており、外部講師によって評価されます。このプロジェクト演習入門1では、特に、必ず必要となる初歩的な技法を中心に演習して行きます。



プロジェクト演習入門2

担当教員：社会情報学部 飯島 泰裕
キャンパス：相模原キャンパス
開講期間：後期（9月～1月）
曜日時限：火曜日3時限（13:20～14:50）
講義概要：

社会情報学部2年標準配置の実習授業に参加して行います。企業や行政などの抱える具体的な課題等を、小グループで課題解決に取り組みます。授業は、その進捗報告を中心に行われ、課題解決に向けて必要となる知識や技術などを適宜学習します。したがって、必ずしも授業時間内で教室内での取組にとどまらず、外部への調査等を含めた授業時間外の取組も必要となります。また、中間報告会、最終報告会を予定しており、外部講師によって評価されます。このプロジェクト演習入門2では、社長を公募し、その社長のもとでの組織編成、問題解決などの中級技法を中心に演習して行きます。



製品安全と社会制度

担当教員：理工学部 瀧 真悟
キャンパス：相模原キャンパス
開講期間：前期（4月～7月）
曜日時限：水曜日3時限および4時限（13:20～14:50および15:05～16:35）
講義概要：理工学研究科（大学院）学生に開講されている特論に参加する。

安全安心な社会構築のためには、ものづくりに携わる技術者が安全安心につながる多様な考え方や制度を理解して設計に反映することが重要です。そこで、本講座では、法制度に基づく安全・安心を守る社会の仕組みを学び、具体的な事故事例などから安全・安心に繋がるものづくりの考え方を身につけます。

チームに分かれて、製品を取り巻く様々な制度や取組を調査し、どのように製品の安全が担保されているのかについて考察・議論します。その結果をポスターセッションにて発表します。

NEW

東京外国語大学 連携講座 司法通訳養成講座

司法の場は、有能な通訳人を求めています。

司法通訳は、法廷だけではなく、弁護士との相談など、多様な場面で活躍する仕事です。

青山学院大学が法務知識を提供し、東京外国語大学が言語教育等を提供し、2大学が連携して本講座を開講します。

開講場所：青山学院大学青山キャンパス（東京外国語大学提供講座も本学での開講となります）
開講期間：2019年4月～2020年2月（春季：4月～7月、秋季：9月～2月）
曜日時限：春季は土曜日1時限～4時限（9:20～17:10）、秋季は土曜日2時限～4時限（11:00～17:10）
開講言語：2019年度はスペイン語、ベトナム語、ポルトガル語
受講資格：法務に高い関心があり、日本語と当該の外国語について、高度な語学力があること
開講科目：現代法実務論、法廷通訳実践I・II、司法通訳I・II、通訳概論*、多文化共生基礎*からなる講座です。
なお*印の科目は、個別の受講もできます。詳細は12月15日(土)以降に本学ウェブサイトでご確認ください。

APEF（公益財団法人フランス語教育振興協会）共催講座

昨年度に引き続き、APEFとの共催講座を下記の通り開講予定です。

- * 通訳者をめざす人のための上級フランス語
- * フランス語通訳者養成コース（基礎科・本科）
- * フランス語翻訳コース（基礎科・本科）
- * Le Monde経済記事の精読 - 趣旨を把握しよう -